

2021

同友しずおか11

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった！」

VOL.516



私の逸品

(株)アイティエス

ドローン技術を応用した
壁面走行ロボット
「IDA-03」



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

●社長はいつも孤独

●経営の成功体験しか聞けない

●目の前の仕事に追われる毎日

●指示待ち社員ばかり

●経営の悩みを相談する仲間ができた

●失敗談から勇気とヒントをもらえた

●将来の会社のビジョンができた

●自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒426-0037 静岡市葵区東町三丁目1番1号 FAX/054-253-7120 Email/kyouka@cdkyou.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

2025年ビジョンの実践

【第5回】

ビジョンを行動のきっかけに

「2025年ビジョンの実践」では、ビジョンプロジェクトメンバーが静岡同友会2025年ビジョンを自社の未来と重ね合わせ、いかに実践していくかをコラム形式で毎月掲載していきます。

皆さん、「私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります」という地域づくりのビジョンを見てどう感じますか。私は、中小企業の声を行政に届ける必要性を一番に感じました。コロナ禍の中、行政の支援策と中小企業の要望がかけ離れ、必要なところに十分な支援が回らず苦しんでいる企業も多くみられます。今期、私は志太支部の支部長として、行政・金融機関・教育機関・他団体との連携を支部の重点方針に挙げました。幸い焼津・藤枝・島田の志太3市は、条例も制定されており連携の入口が出来ていましたが、そこは重い扉で閉ざされたままでした。そこで、今期は藤枝市の条例推進担当の若手職員との定期的な意見交換会を開催し、今は扉を開く鍵を探しているところです。来期は、条例推進会議の分科会を設置予定で、同友会主体で問題提起をし、扉だけではなく窓も開け広げ、行政と風通しの良い関係を作っていくのが目標です。

志太支部で始めたたった一つの行動でしたが、条例推進に消極的だった焼津市との意見交換も始まり、会員及び行政を巻き込んで「地域づくり」の波紋が広がっていくのを感じています。何事も行動することが大事であり、2025年ビジョンはまさにそのきっかけを与えてくれたものでした。

吉田 和弘氏（吉田道明税理士事務所・志太支部）



ICTと新たなチャレンジで 地域の発展を支える

(株)アイティエス (三島支部)

代表取締役社長 梶山 康行氏



梶山氏 (中央) と取材陣

今回の「私の逸品」は、(株)アイティエス 代表取締役社長の梶山康行氏にお話を伺いました。1975年にオムロンの制御機器のメンテナンス業務を請け負う企業として創業。その後、2009年に梶山氏が2代目社長に就任しました。現在の事業は多岐に渡り、FA(ファクトリー・オートメーション、工場の自動化)システム開発、土木建設業向けICT化ソリューション、OA機器の保守サービス事業などが主軸事業です。

サービスを徹底する価値は、顧客満足だけではない

同社ではOA機器の保守サービス事業として「がっちりサポート」を提供しています。これは月額契約でOA機器のメンテナンスを包括的に引き受ける

ものです。メンテナンスする機器は他社納入品も含みます。ハード的なメンテナンスから、ソフトウェアの設定、操作方法をレクチャーする場合もあります。一般的に製品の設定やレクチャーは、他社製品であれば触れたくない部分です。しかし、「困りごとをあえて自社に向けてくれているのは、期待と信頼があつてこそ」だといいます。現場で起きている困りごとの解決は、顧客満足に繋がるだけではなく、新たなサービス提供のヒントや情報にもなります。似たような困りごとや解決例が集まると、セミナー需要に繋がりが、潜在需要を掘り起こすチャンスになっていると話してくれました。

ICTで国力の衰退に歯止めをかける！

土木建設の分野では人手不足に加え、メンテナンスコストが高くなっています。人的コストや求めるメンテナンスレベルが上がっている背景があるためです。同社ではドローン技術を用いた壁面走行ロボット「IDA-03」を開発。ビルの外壁や橋、トンネルなどの打診検査を可能にしました。開発の背景には、国内のICT化は国が目指す目標の2%程度であり、特に

中小企業が遅れているという事実があり、働きの確保が難しくなる中で「ICTで国力の衰退に歯止めをかけた」と梶山氏は語ります。IDA-03はデータを可視化し、メンテナンス計画を論理的に立てることができ

るため、生きた情報が土木建設の安全性と正確性の向上に繋がっています。「地域の発展なくして企業の発展はない。地域を大切にするために、我々はどんな貢献ができるのか。それには現状に満足せず、常にチャレンジし、新たな商品・サービス提供すること、これに尽きる」と梶山氏は言います。社員やお客様を守るだけでなく、地域の発展に寄与する



ICTの新たな拠点となる新社屋



梶山氏の姿勢が、今回取材の中で紹介のあった製品やサービスに現れていると感じました。

取材・記事：増田隼人氏

(株)集客デザイン研究所・三島支部

取材：秋山敦氏

(株)秋山建設・三島支部

(株)アイティエス

〒411-0816 三島市梅名427-1

TEL : 055-977-5151

URL : <https://www.itsg.co.jp>

創業 1975年

社員数 177名

入会年月 2002年10月

事業内容 FA(工場の自動化)システム開発、サポート、メンテナンス、OA機器開発保守サービス、建設業向けICT化ソリューション

本当の経営者を目指して

あんしんビジネスサポート(株)
代表取締役 影山 伸和氏 (富士支部)



影山 伸和氏

勤め人から独立へ

もともと現在と同じIT関係販売会社に勤めていた影山氏。独立し、今に至るまでの経緯とこれからの課題について詳しくお聞きしました。

事は充実し、他社からのスカウトの話もあったりと、とてもやり甲斐を感じる毎日でしたが、あることをきっかけに辞表を出した瞬間に、起業の肚決めをしたといえます。会社を前職と同じ地域に構えた理由は、それまでに関係を築いてきたお客様と、共に生きていき

たいという想いからでした。独立直後の大きな分岐点は、それまでもお付き合いのあった大手メーカー・商社との取引契約が結ばれたことだったと語ります。そのメーカーの決裁ルートにいる全員が、これまでの20年間で仕事を通じて出会ってきた人たちだったことで、「いよいよ影山がやるならば応援しよう」と取引締結に至ったそうです。たった1人の独立劇に大手商社が口座を開くことは難しい中で、「それまでに築いてきた信頼関係が自分にとっての大切な奇跡だった」と話してくれました。

前職の社長との対話から現状打破

今から2〜3年前、経営が苦しかった時期に、前職の社長と話したことが、状況を打開するヒントになったと影山氏は語ります。当時を振り返りながらの話の中で「ひとつ言いたいことがある。君は力のある営業マンではあったが、安売りが得意な、利益率の低い営業マンだった」という言葉で、見積る際に「商談をとりたいたい」「この値段では負ける」という恐怖感から価格を下げてしまうという心の癖。それに気づいてから、会社を経営していくにはこれだけの利益が必要だという強い気持ちで、勇気と自信と責任感をもって商談に臨むようにしたそうです。実際に行ってみるとお客様に受け入れられ、益率改善のターニング



会社外観

ポイントになったと話してくれました。

今後の課題、本当の経営者を

今、同じ富士支部内で気になっている経営者は、新しい冷凍事業にもチャレンジし、まさに経営者として経営に向き合う(株)仕出しおがわの小川友代氏と、息子へ経営を引き継ぐための仕組みづくりに取り組んでいるねじいちの東海林誠氏だと言います。二人のように自分も本当の経営者になるために今は社員教育に力を入れているそうです。以前雇っていた社員が辞めるときに「将来がイメージできない」と言われたこともあり、社員が成長ややりがいを実感できる会社づくりを目指しています。今の社員にも、売ることや見積もりを仕上げることで、クロージングがうまくいかないなど課題はたくさんあります。そういった課題に向き合いながらも、社員の成長を摘



影山氏 (左から二番目) と取材陣

まなないように任せきること、お客様ファーストから社員ファーストへの転換、社員がやりがいを感じられる経営に取り組んでいくと影山氏は語ります。社員と二人三脚で理想の経営者像に近づけるようこれからも情熱的に走り続けて欲しいと思えました。

取材・記事：山田冬人氏
(株)エンジニアメント・富士支部

あんしんビジネスサポート(株)

〒419-0201 富士市厚原1244-3

TEL : 0545-67-8001

URL : <http://anshin-biz.jp>

設立 2007年

社員数 1名

入会年月 2012年12月

事業内容 IT・OA機器販売保守

全県経営フォーラム参加申込み ★現在、437名が参加表明★

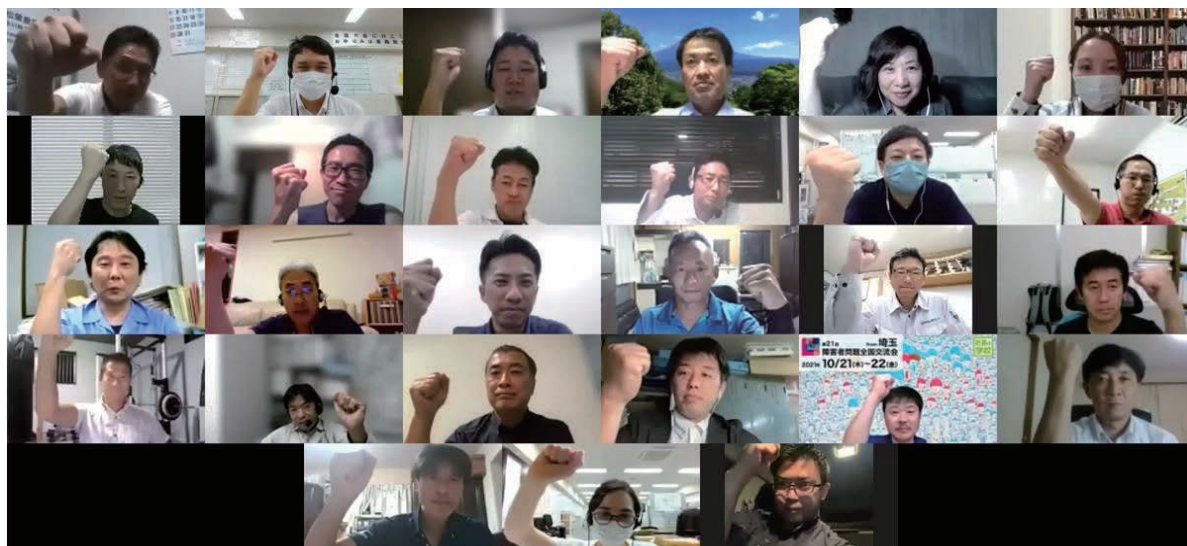
※11/1時点

参加申込は事務局までご連絡ください！
mail:doyu@szdoyu.gr.jp TEL：054-253-6130

日時：11月19日（金）13：30開会～17：30閉会

参加方法：ZOOM ※ZOOM情報は後日ガイドブックに記載し配信致します。

フォーラムの準備もいよいよ大詰め！
設営メンバーが会員皆さんの参加をお待ちしています！



全県経営フォーラムの準備もいよいよ大詰めの段階に来ました。各分科会では、参加会員の皆さんと最高の学びの場を作り上げるべく、報告リハーサル、レイアップ御幸町ビルでの設営リハーサルの実施と打ち合わせが進んでいます。魅力あるフォーラムになること間違いありません！新しい形で開催される本フォーラム。まだ参加も可能です！ぜひご参加ください！

記念講演・全分科会のPR動画をe.doyuと
Youtubeより配信中！

右記QRコードからPR動画を視聴できます！ぜひご視聴ください。まだ参加申込は間に合いますので全県経営フォーラムへご参加ください！お申込みは事務局までご連絡を。



PR動画QRコード



e.doyuQRコード

第49回青年経営者全国交流会 参加報告

外部環境変化の不安を一步踏み出す勇氣に変える！

9月9日に開催された青年経営者全国交流会（以下、青全交）は2500名参加に至る大きな交流会となり、静岡からも58人の仲間がオンラインで集いました。この場をお借りして、改めて多くのご参加にお礼申し上げます。誠にありがとうございました。静岡同友会青年部で行った青全交振り返りの中で多くの方が全国の仲間と熱量に触れ、自社、そして地域や同友会のつながり、それらの未来に思いをはせることが出来た声を聞き、今回の青全交にみなさんと共に参加できたことに私自身、大きな喜びを感じています。あの日、参加できなかった仲間にも58人が発する熱量がお互いの刺激となり、更に地域を盛り上げていくはずだと確信しています。

コロナ禍がはじまってからというものの、新しい生活様式が始まると言われ続け、我々の生活を見渡すと子供のころ描いた近未来はずで目の前にあります。それぞれ、ろか、技術や仮想空間の発達は我々の想像よりも更に先へ現実を進めようとしているようにさえ感じます。しかし、時代の変化の中

においても全国で活躍する経営者が青全交で訴えたことの中核は、やはり「人のつながり」「地域・仲間とのつながり」「社業への誇り」だったのではないのでしょうか。このような話の時「結局、いつもの結論に成るのか」「同友会を続ける」と新しい学びが減っていく。こう言ったお声を耳にすることもありますが、私は同じことのループではないと感じます。いつの時代でも報告者からこれらの言葉が出るのは、外部環境が変化し、コミュニケーションのあり方が大きく変わろうとも同友会が大事にしてきたものは揺らがらないことへの証明であり、先輩たちから受け継がれてきた学びや思いが一朝一夕のものではないこと、我々を支え続けていることを確信させてくれるからです。

今回の青全交が歴代最大の参加者をマークしたのも、オンラインで参加しやすくなったただけではなく、リアルに比べてどうしても交流が浅くなると言われるオンラインであっても、全国へ同友会が熱意を届け続けられ、我々中小企業が世界でも活躍することが出来る

という岐阜の運営チームの熱い思いがあったからこそです。その思いは確かに静岡にも届きました。静岡の仲間、そして青全交でつながった全国の仲間を良きライバルとして、ここから未来と世界に向かって仲間と共に走っていきけることに私自身、今からとてもワクワクしています。外部環境への不安を一步踏み込む勇氣に変えるのは、いつでもこうした本気の交わりが生み出す熱さやワクワクがきっかけであり、それを仲間と共通項として持てる喜びを改めて感じさせてくれました。さてさて、来年は兵庫です。アフターコロナでさらに変化する環境の中でリアルとオンラインを織り交ぜながら、我々はどうなことを語り合っていくのか、いまからワクワクが止まりません。

渡邊且真氏
(株協和・県青年部会長)



★組織増強委員会ニュースと仲間づくり手引きをe.d.o.y.u掲示板より配信しています！ぜひ活用ください！

組織増強委員会ニュースでは、直近のイベントや県内の仲間づくりの情報を発信します！

静岡県中小企業同友会 組織増強委員会

組織増強委員会ニュース

◆ぜひ、同友会で会員増強をされるか？

- 同友会には、経営者の成長を支援する様々なサービスがあります。地域の経済を活性化し、地域の発展に貢献することができます。
- 同友会には、経営者の成長を支援する様々なサービスがあります。地域の経済を活性化し、地域の発展に貢献することができます。
- 同友会には、経営者の成長を支援する様々なサービスがあります。地域の経済を活性化し、地域の発展に貢献することができます。

◆会員の皆様へお願いです！

1. 会費を滞りなくお支払いください。滞りなくお支払いいただくことで、同友会の活動を継続することができます。
2. あなたの知り合いの経営者に、「同友会」を紹介してください！
3. 10月・11月の開催
4. 22. 同友会とつながり強化のイベント

「会員増強は最大の地域貢献」仲間づくりで一人ひとりができることをまとめました！

静岡県中小企業同友会

会員増強は最大の地域貢献

会員を増やしていく意義とは？

同友会には、経営者の成長を支援する様々なサービスがあります。地域の経済を活性化し、地域の発展に貢献することができます。

お知り合いの青年経営者をぜひ同友会にお誘いください！

第21回障害者問題全国交流会 from 埼玉 「人を生かす経営の実践で 共生社会の実現を」

10月21日(木)～22日(金)、オンラインにて中協主催・第21回障害者問題全国交流会 from 埼玉が「人を生かす経営の実践で共生社会の実現を」をテーマに開催され、全国から過去最多の823名(うち静岡20名)が参加しました。47都道府県すべての同友会からの参加があったのも今回が初となります。一日目は障がい者雇用、ダイバーシティ経営、若者の就労支援など7つのテーマに分かれて分科会を開催し学びを深めました。二日目はノートルダム清心女子大学の杉山博昭教授による、「渋沢栄一に学ぶ福祉の未来」と題した記念講演が行われました。

「自分から進んだそうです。まずは信頼関係を築いてから次の挑戦につなげていくことや、「AとBどちらならできる？」と本人に選択させる姿勢など、障がい者に対してだけでなく、共育ちの姿勢で社員と向き合うヒントをいただきました。4人の息子が事業を継いだり、関連会社を立ち上げたりして経営をしています。皆同友会に入っているため、共通言語で語り日常的に議論を交わしているとのことでした。強烈なキャラクターと奔放な報告でしたが、常に社員の行動について感謝する姿に、報告の最後にはすっきり引き込まれてしまいました。「みんなが違うから、ワクワク」と報告の最後にオリジナルソングも飛び出し、「自社の存在意義をぶらさず」「違いを認め」「違うことを楽しむ姿勢」こそが、共生社会の実現につながるのだと実感しました。

〈参加者感想〉
参加した分科会は小松君恵氏(株)コム・埼玉同友会代表理事)による報告でした。保育・子育てサービスの事業を「あつたらいいな」で使命感に燃えて事業拡大していく姿は、当初社内から場当たりの批判されていましたが、同友会に入会し経営指針の作成、共育ちツールの作成など多くの実践を行ってきました。障がい者雇用については、あるスタッフの「やってみま

しよう」から進んだそうです。まずは信頼関係を築いてから次の挑戦につなげていくことや、「AとBどちらならできる？」と本人に選択させる姿勢など、障がい者に対してだけでなく、共育ちの姿勢で社員と向き合うヒントをいただきました。4人の息子が事業を継いだり、関連会社を立ち上げたりして経営をしています。皆同友会に入っているため、共通言語で語り日常的に議論を交わしているとのことでした。強烈なキャラクターと奔放な報告でしたが、常に社員の行動について感謝する姿に、報告の最後にはすっきり引き込まれてしまいました。「みんなが違うから、ワクワク」と報告の最後にオリジナルソングも飛び出し、「自社の存在意義をぶらさず」「違いを認め」「違うことを楽しむ姿勢」こそが、共生社会の実現につながるのだと実感しました。



西鉢委員長

西鉢 亮貴氏
(株)富士山ドリムビレッジ・県障がい者問題委員長

静岡大学連携講座 「企業経済特論Ⅳ」がスタート!

10月6日より、静岡大学連携講座「企業経済特論Ⅳ」がスタートしました。中小企業の役割や意義、またその魅力を知ってもらうことを目的に2008年より毎年開催している本講座は今年で14年目を迎えます。静岡大学と静岡同友会は2008年に相互協力協定を締結しており、その連携の一環として本講座が開講しました。毎回異なる会員経営者が登壇し自事業や自身の経営哲学・生き様を語る本講座の内容を、今日より紹介していきます!

第1講

10月6日(水)

日本経済における中小企業の果たす役割と意義、この講座の目的

講師：遠藤一秀氏

(遠藤科学(株)・静岡支部)

データを用いながら内需主導、民間消費主導の経済発展には中小企業の果たす役割が大きいと伝え、女性・高齢者雇用割合の高さなど雇用面からも地域社会を支えていると話しました。また、中小企業の経営の目的は様々であり、同社では経営理念「社員の幸福」の実現にむけた付加価値の極大化、特に社員への配分と社内留保分の最大化を経営目的としていると話しました。また最後に「本講座を通して中小企業経営者の魅力にふれ、中小企業へ関心をもってほしい」と学生に伝えました。



遠藤 一秀氏

中小企業へ関心をもってほしい」と学生に伝えました。

10月イベントセミナー

この会社を残したい! 2代目の覚悟と挑戦

10月22日(金) 同友会事務局&ZOOM



青木 雅一氏

(データマイン(株)・浜松支部)が報告します。ぜひご参加ください!

オブザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また大変革に挑む仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。10月は会場とZOOMのハイブリット形式で開催し、会員・オブザーバー合わせて16名が参加しました。静岡市でレンタルグリーン事業などを行う青木園芸代表の青木雅一氏(静岡支部)より二代目として会社を継ぐ覚悟を決め、同友会で学んで実践してきたことを報告しました。創業者である父が病に倒れ突然の世界悩んだ末「この会社を残したい」と継ぐことを決意した青木氏。しかしリーマンショックで売上は激減し、悩んでいた時に同友会に誘われます。入会後は経営指針を創る会で自事業定義を「植物の力で創る癒しと潤いある空間創りのプロデューサー」と定め、HPやパンフレットを一新。そこから意識・行動が変わってゆき、新たな仕事に繋がったと言います。バズセッションでは「企業としてどんなお役立ちをしていますか」をテーマに、各々の経営理念や自事業定義を経営に落とし込んでいかに実践しているかを話し合いました。次回11月26日(金)のイントロセミナーでは江間省豪氏(データマイン(株)・浜松支部)が報告します。ぜひご参加ください!

11月 18日(木)	榛南例会 (19:00 ZOOM) 浜松例会 (19:00 クリエイト浜松&ZOOM)
19日(金)	第35回全県経営フォーラム (13:30 ZOOM)
22日(月)	中遠例会 (19:00 未定) 県共育委員会 (18:30 ZOOM)
25日(木)	県理事会 (15:00 ZOOMまたは事務局での併用開催)
26日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」 (19:00 同友会事務局&ZOOM)
27日(土)～ 28日(日)	第18期経営指針を創る会 経営指針発表会 (9:00 未定)

12月 2日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
8日(水)	御殿場忘年例会 (19:00 未定) 志太忘年例会 (19:00 ZOOM)
10日(金)	富士宮忘年例会 (19:00 ZOOM)
14日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート&ZOOM)
15日(水)	伊東例会 (19:00 未定) 沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ&ZOOM)



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1054 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
おおた よしき 太田 喜貴	(株)キラガ 卸売・小売業 (宝飾品の製造、卸、小売販売)	沼津	大谷知津子
いとう よしかず 伊藤 欽一	(有)和光商会 塗装・清掃等 (塗装工事、木床再生工事、各種清掃、ビルメンテナンス、衛生用品販売等)	志太	寺島 雅之
ますだ たかゆき 増田 貴行	土地家屋調査士 増田貴行事務所 士業 (土地建物登記・測量)	志太	寺島 雅之
やまぐち つよし 山口 剛史	山口プランニング 建設業 (土木)、トレーラーハウス製造販売、ドローンスクール、損害保険取扱	志太	寺島 雅之
まつばえ ひろあき 松栄 博明	呑み喰い処 まつばえ 飲食店 (飲食店の運営)	榛南	池田 順一
あんどう まちこ 安藤 真知子	ピアノ調律 あんどう ピアノ調律・販売等	浜松	江間 省豪

名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
おののだ やすひと 小野田 泰士	(株)岡電 電気工事業 (電気・空調設備工事)	御殿場	小野田 猛

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



故 福田 克己氏

(株)ホームプラザ大東 会長
1986年 静岡同友会入会
1996年度～1999年度：志太支部長
1997年度～2014年度のうち14年間：
県副代表理事
2015年度～2016年度：県副会長

故 福田克己さんのご逝去を悼んで

大先輩、福田克己さんの突然の訃報に接し謹んでお悔やみを申し上げます。元気なお姿、大きなお声、ニコニコ笑顔が今でも目に浮かびます。ニコニコ笑顔がトレードマークの福田さんでしたが、話題が地域の未来の事になるといっぺんに真剣な眼差しになり、その豪快な口調は更に力を増し、口角泡を飛ばして延々と熱く語ってくれました。

地域の発展無くして企業の発展無し、企業の成長無くして地域の発展無し・・・が口癖で、私自身が自社経営と地域振興を重ねて考えるようになったきっかけは、まさに福田さんの影響でした。

H17年、志太支部20周年で開催した静岡空港利活用促進による地域振興シンポジウム

や、藤枝市がH24年に打ち上げたエコノミックガーデニング構想への支部としての関り、そしてH28年には藤枝市の中小企業振興基本条例の制定運動において、地域でのリーダーシップのとり方を私たちに示してくれました。

ここ数年は病気との戦いでしたが、病床にいてもいつも地域の事、支部の事を常に気にかけてくれ、本当に感謝しています。

福田さんの事なので、きっとまだまだ頭の中にはたくさんのアイデアがあり、やり残したことも多いのではないかと思います。ここからは私たちが責任をもって引き継いでゆきます。

本当にありがとうございました。しばらくはゆっくりとお休みください。

松葉 秀介氏 (松葉倉庫(株) 志太支部)